

立命館經濟學

第九卷 第三号

昭和三十五年八月

内 容

論 說

- マネジメント小論 (一) 祭 原 光 太 郎 1
官房学派に於ける財政思想 箕 浦 格 良 32
第二市場論 (一) 住ノ江 佐 一 郎 81

研 究

- 株式会社支配論の新しい傾向 植 村 省 三 102
——A. A. バーリの所説をめぐって——

資 料

- 宮津藩の丹後縮緬機業政策について (一) 足 立 政 男 144

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第九卷・第一号

論説

超過利潤と差額地代 白杉庄一郎

——向坂説の検討——
証券の上場について 住ノ江佐一郎

研究

〈疎外された労働〉
の概念(一) 細見英

資料

和歌山県地租改正反対一揆 後藤靖

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第九卷・第二号

論説

世界市場と世界経済体制 小椋広勝

幕末・明治維新における
郷土の政治的運動の展開 岡本幸雄
——旗本領丹波馬路両苗郷土について——

証券分析の証券投

資理論における地位 住ノ江佐一郎

減価償却における更新機会 服部俊治

——George Turbough 氏の減価償却論研究——

研究

〈疎外された労働〉の概念(二) 細見英

発行所 立命館大学人文科学研究所